

普及活動情勢報告（平成29年11月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

高品質生産に向けた意欲の向上 ～第13回津野町産業祭農林産物品評会～



各賞の審査中

11月11日、第13回津野町産業祭農林産物品評会が開催されました。本年は台風の影響で、例年に比べて野菜の出品は減りましたが、シキミや原木シイタケの出品が増加し、総出品数は247点とたくさんの農産物が出品されました。審査の結果、園芸連会長賞はミョウガから、須崎農業振興センター所長賞は土佐甘トウから選定されるなど、28の賞が決定されました。

農業改良普及課では品評会等を活用し、高品質な農産物生産に向けた生産者の意欲の向上を図っていきます。

集え！嶺北へ！ ～米ナス生産者交流会～



熱心に質問する参加者

11月8日、米ナス生産者や園芸連、農業改良普及課等の関係機関が嶺北地域（大豊町、土佐町）で、生産者交流会（以下、交流会）を行いました。

大豊町の雨よけ栽培ほ場では、参加者から「スワルバンカーによるアザミウマ類の防除効果は？」、「黒枯病対策は？」等の質問が出されました。また、会議では、各地域の現状と環境制御技術やIPMの取組等について情報交換が行われ、生産者からは「次回は、夏秋期の雨よけ栽培で行ってみたい。」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、夏秋期の米ナスの生産振興を支援します。

環境測定装置の導入促進 ～JA土佐くろしおインゲン部会出荷始め総会の開催～



出荷始め総会での補助事業の説明

11月15日、JA土佐くろしおインゲン部会出荷始め総会が、須崎市道の駅で、農家18名が参加して開催されました。園芸連と市場が販売概況を報告し、平成30園芸年度のインゲン出荷計画や取り扱い要領等について協議しました。その後、JAからインゲン現地検討会や農産物展示品評会等の開催について報告があり、農業改良普及課は、サヤインゲンの増収のための環境測定装置の導入効果や導入のための補助事業について報告しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して環境測定装置の導入とその活用を推進し、栽培技術の向上や部会への普及に取り組めます。

農産物の品質向上へ！ ～ＪＡ土佐くろしおＪＡまつり農産物品評会～



ＪＡまつりでの農産物展示品評会

11月19日にＪＡ土佐くろしおの農産物展示品評会が開催されミョウガやキュウリ、シシトウなどの施設野菜を中心に330点の出品がありました。

生産者が天候や生育に応じた適切な管理をした結果、高品質でいずれも甲乙つけがたい農産物が多数出品され、高知県知事賞を始め、高知県農協中央会長賞等27点が入賞しました。

農業改良普及課は、今後も高品質な農産物の安定供給に向け、天候や生育に応じた栽培管理技術の普及に取り組めます。

効果的な環境制御技術を知ろう！ ～須崎地区環境制御技術講演会を開催～



講演会の様子

11月10日、ＪＡ土佐くろしおで、環境制御技術講演会を開催し、生産者・関係機関合わせて69名が参加しました。

講演会では九州大学から講師を招き、効率的な炭酸ガスの施用方法や、光合成の働きを可視化する研究を講演していただきました。

参加者からは「ミョウガの地下部に転流を促す方法は無いのか。」「雨天時はＣＯ₂濃度を下げるとい手法は効果的か。」等の質問が出され、環境制御技術による収量・品質改善への意欲を高めることができました。

農業改良普及課では、環境制御技術の普及による所得向上を目指し、講習会等で技術の普及を支援します。